



カレッジ college news だより

2005 Mar.
vol.

7

道民カレッジ受講生数
15,139人(2月28日現在)

「道民カレッジに学んで……」

ほっかいどう学コース 道民カレッジ修士
札幌市 中嶋 深 幸氏



“妻を卒業して”以来、私の中にふかく眠り続けていた知識欲が少しずつ目覚め始めた時に、“道民カレッジ”のガイドブックを手にしました。道民の一人として、特に先住民の精神文化と歴史、古文書学をライフワークとして学び続けて行きたいという長年の思いがあり、この冊子の中に興味を引く講座がありました。そして、実際に学んで、現在の食生活のあり方や、アイヌ史を縄文時代から現代に至る過程を知り得たのが、大きな収穫でした。

また、古文書学の講座に参加し、幕末から明治にかけての箱館戦争や当時の庶民階級の日常生活、そして人生観が今の私たちとあまり違っているとは言えない部分も数多くあることを知り、興味深くテキストを読み、学習を致しました。

私は、母方の祖父から幼い時に、“温故知新”という、この言葉の中にある限りない可能性を見出し生命の続く限り学ぶように言われました。

また、江戸時代に生まれた父方の祖父が残した古文書を、“道民カレッジ”古文書学で得ました知識を生かして解読したい。希望は大きくふくらんでおります。

今までの学びの中で、最も深く私の脳裏に刻みつけられたのは、北海道立特殊教育センターで15回にわたって受講した講座です。この世にあって、与えられた人生をいかに生きるべきか、その姿勢が問われる内容でもありました。講義の中でのスライドでは、全ての人たちが、等しく平等に社会生活を営む事ができるように、活動されている多くの女性の力強さと瞳の暖かさに心が和みました。

今後の私は、“道民カレッジ”で与えられました知識を、社会に対して微力ながら形に現して、還元できるように努力を重ねながら、学び続けたいと思っております。

道民カレッジの現況

(平成17年2月28日現在)

本年度、道民カレッジ事業は順調に推移しており、連携講座は**年間講座数は1250を超え**、過去最高の講座数に達しています。また、学生数も当初の目標である15,000名を上回り、称号取得者(学士・修士・博士)も大幅に増加しています。

◎平成16年度連携講座の年間集計 (全1,256講座)

ほっかいどう学コース	148講座	能力開発コース	155講座	環境生活コース	237講座
健康・スポーツコース	155講座	教養コース	561講座		

◎称号取得者数 学士59名 修士25名 博士13名

◎管内別学生数 (合計15,139名)

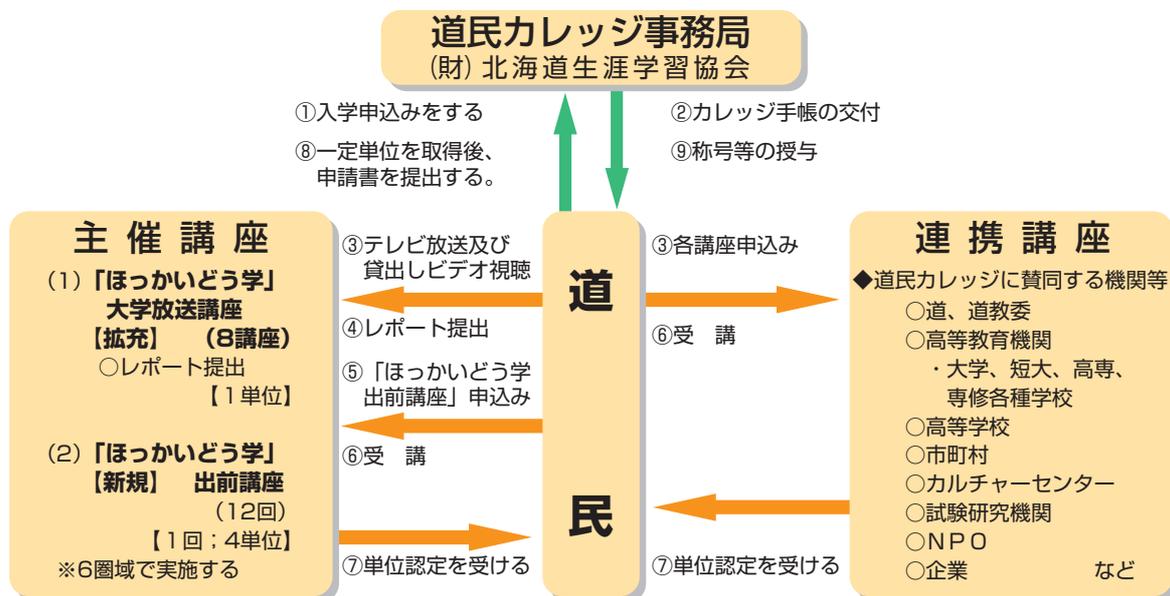
管内	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌
受講生	5,339名	754名	1,000名	1,145名	820名	549名	639名
管内	宗谷	網走	胆振	日高	十勝	釧路	根室
受講生	483名	1,269名	351名	906名	460名	681名	743名

4月から道民カレッジが変わります

- ・大学放送講座の拡充 6講座→8講座へ
- ・1000単位取得で学長奨励賞の授与
- ・市町村に大学放送講座ビデオの無料貸し出し
- ・「ほっかいどう学出前講座」の新設
- ・称号取得者に新しい専用手帳の発行

入学、受講のシステムについて

ガイドブックに添付してあります入学申込書を道民カレッジ事務局に、返信用切手（140円）を同封の上郵送、または持参してください。入学者には、「道民カレッジ」手帳を無料でお渡しします。入学後、ガイドブックを参考に希望する講座に受講申込みをしてください。



学習方法について

主催講座

(1) ほっかいどう学大学放送講座【拡充】

- 「大学放送講座」テキストを購入し、30分のテレビ放送を視聴し、テキストに添付されているレポート用紙に所定の事項を記入し、道民カレッジ事務局に提出します。
- 道民カレッジ事務局では、情報交流広場（かでの2・7；9階）でのビデオ視聴と各市町村教育委員会を対象に「放映ビデオ」の貸出しを実施します。1月～3月の期間ですのでご活用ください。【新規】

(2) ほっかいどう学出前講座【新規】

- 希望市町村や団体の要望に基づき、まちづくりの実践的な知識・ノウハウを持った講師を地域に派遣し、地域課題と取り組む生涯学習を支援する参加型学習プログラムによる地域づくり実践講座です。

連携講座

- ◇ 「道民カレッジ」に賛同する大学・短大等の高等教育機関の公開講座、専修各種学校の講座、市町村の講演会・講座、研究機関や民間教育事業者・各種団体等の講座・研修会で、ガイドブック（前期・後期）や道民カレッジホームページの中から、自分で学びたい講座を選び、実施機関・団体等に申し込みをして受講します。

自分が学びたい講座を選び、自分にあった学習計画を組み立てながら主体的に学ぶことができます。

主催講座と連携講座

★いつ、どこで、どんな講座が開設されているかは、ガイドブックを参照してください。

主催講座

■「ほっかいどう学」大学放送講座【拡充】

・北海道（あるいは道内の地域）について、7つの学習領域を基本に、現在を見つめ、過去を知り、未来のあり方を考える大学放送講座をHBCテレビで放映します。

【17年度参加大学】

- ◇札幌医科大学
 - ◇札幌大学
 - ◇東京農業大学
 - ◇北海道医療大学
 - ◇北海道教育大学
 - ◇北海道情報大学
 - ◇北海道大学
 - ◇北海道東海大学
- (五十音順)

■「ほっかいどう学」出前講座【新規】

・実施希望の市町村の要望に基づき、学習者の参加を図りながら、その企画・実施を市町村と北海道が協働で取組む地域づくりの実践講座です。(道内6圏域で実施)

学習領域

- ①『北海道の総合施策』講座
- ②『北海道の文化と歴史』講座
- ③『北海道の自然環境』講座
- ④『北海道の産業』講座
- ⑤『北海道の生活』講座
- ⑥『北海道の芸術、スポーツ』講座
- ⑦『北海道の地域づくり』講座

連携講座

■道民カレッジ連携講座

・道民カレッジに賛同する大学・短大等の公開講座、専修各種学校の講座、市町村の講座や研修会、研究機関等の講座、民間教育事業者・団体等の講座やセミナー等があります。

【講座内容のコース】

- ①「ほっかいどう学」コース
・北海道の歴史や民族、地域学等の講座
- ②「能力開発」コース
・技能・資格等の専門性を高める講座
- ③「環境生活」コース
・社会生活の向上を目指す講座
- ④「健康・スポーツ」コース
・健康・体力づくり等を目指す講座
- ⑤「教養」コース
・豊かな人生をおくるための基礎講座

学習単位について

単位の認定について

■主催講座

(1) 「ほっかいどう学」大学放送講座【拡充】

- ◇ 大学放送講座テキスト（本）を参考に30分のテレビ番組を視聴し、テキストに添付されているレポート用紙に所定事項等を記入し提出すると、1講座につき1単位を認定します。
なお、レポート提出には、大学放送講座テキストの購入が必要となります。

(2) 「ほっかいどう学」出前講座【新規】

- ◇ 道内各地で開催される出前講座を最後まで参加した場合は、1講座について4単位を認定します。講座は基調講演とワークショップによる参加型学習プログラムになっています。

■連携講座

- ◇ 道民カレッジに賛同する各機関で開催される講座に申込みをし受講すると、1時間1単位を基本に認定します。連続講座においては、講座を主催する機関の認定基準を優先しますが、それ以外は講座の7割以上出席された方に対し、カレッジ手帳に単位認定印を押印します。

■単位互換

- ◇ 連携先の市民カレッジや市民大学等の公開講座と単位互換をする場合は、道民カレッジの単位（1時間1単位）に置き換えることができます。

称号の取得について

■所定の単位を取得した場合、道民カレッジ事務局に申請すれば「称号」を授与します。

- 100単位を取得した場合……『道民カレッジ学士』（～コース）
- 200単位を取得した場合……『道民カレッジ修士』（～コース）
- 300単位を取得した場合……『道民カレッジ博士』（～コース）

称号取得者用のカレッジ手帳【新規】 平成17年度から、称号取得者用の道民カレッジ手帳を新たに発行します。

※『学長奨励賞』【新規】 コースに限らず、総取得単位数が1000単位となった場合に、賞状を授与します。

称号取得者のための「学習成果活用セミナー」を開催しました

2月18日（金）、かでの2・7を会場に「称号取得者のための『学習成果活用セミナー』」を開催しました。このセミナーは、道民カレッジの称号取得者（学士・修士・博士）を対象に、地域の諸課題や学習ニーズに対応するため、学習の成果を生かし、地域に貢献する実践的な研修を行うとともに参加者相互の交流を図ることを目的に、今回初めて実施したものです。



2月7日現在の対象者、53名のうち33名が出席しました。開会式後の基調説明に引き続き、北海道大学の木村純教授（道民カレッジ評価活用検討部会長）による「称号取得者に寄せる期待～地域の活性化をめざして～」と題した講演、午後の最初は道立生涯学習推進センターの中川章二主査が、「コミュニケーショントレーニングの実際」の実技指導を行いました。

最後の意見交換では、5つの小グループに分散し、ブレインストーミング方式による話し合いを行い、セミナーの率直な感想をはじめ、今後の学習活動の抱負や道民カレッジに寄せる期待など、熱心な論議が交わされました。終了後のアンケートには、「参加して良かった」、「成果があった」などの感想、次回の開催を願う声が数多く寄せられ、好評のうちに終了しました。



道民カレッジ称号取得者一覧

平成17年3月2日現在

【道民カレッジ博士】 13名

池本 隆一さん(札幌市)、松田 仁明さん(釧路町)、深畑 勝広さん(札幌市)、石岡 六美さん(鹿部町)、永井 廣さん(石狩市)、近江 哲郎さん(北広島市)、新村 祐吾さん(札幌市)、五郎部 勇さん(札幌市)、丸川 和宏さん(当別町)、永井 頼恵さん(江別市)、平石 修さん(札幌市)、井原 平一さん(札幌市)、林 君雄さん(札幌市)

【道民カレッジ修士】 11名

森 幸子さん(函館市)、蛭川 剛之さん(江別市)、橘 宜由さん(鹿部町)、鈴木 久美さん(札幌市)、高田 満穂さん(札幌市)、逢坂 利昭さん(札幌市)、喜多 馨さん(江別市)、佐藤 一雄さん(江別市)、小杉 茂さん(江別市)、中嶋 深幸さん(札幌市)、中村 節子さん(札幌市)

【道民カレッジ学士】 29名

平野 正俊さん(上磯町)、渡辺 常雄さん(札幌市)、丸川 テルさん(当別町)、深畑千恵子さん(札幌市)、小湊 繁さん(札幌市)、山下 安信さん(美唄市)、田宮 章次さん(札幌市)、高橋 松雄さん(江別市)、田中 達さん(由仁町)、豊田カヨ子さん(札幌市)、村上 昭子さん(札幌市)、関口 義幸さん(江別市)、山吹 英男さん(音更町)、有我 武夫さん(江別市)、永井 愛子さん(江別市)、川合 昇さん(北広島市)、横井志以子さん(北広島市)、石 好八郎さん(小樽市)、磯部 光宏さん(札幌市)、伊藤金五郎さん(札幌市)、犬養 希佑さん(札幌市)、畑中 利夫さん(札幌市)、松浦 宙子さん(札幌市)、早坂 惇司さん(北見市)、高田 隆志さん(札幌市)、稲葉 泉さん(札幌市)、佐々尾雅志さん(札幌市)、渡辺 実さん(旭川市)、高畑 司さん(札幌市)

順不同

カレッジだより Vol.7

平成17年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局
財団法人 北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階
TEL(011)231-4111(内線36-343) FAX(011)281-6664
URL <http://www.hsgk.jp/college/>

